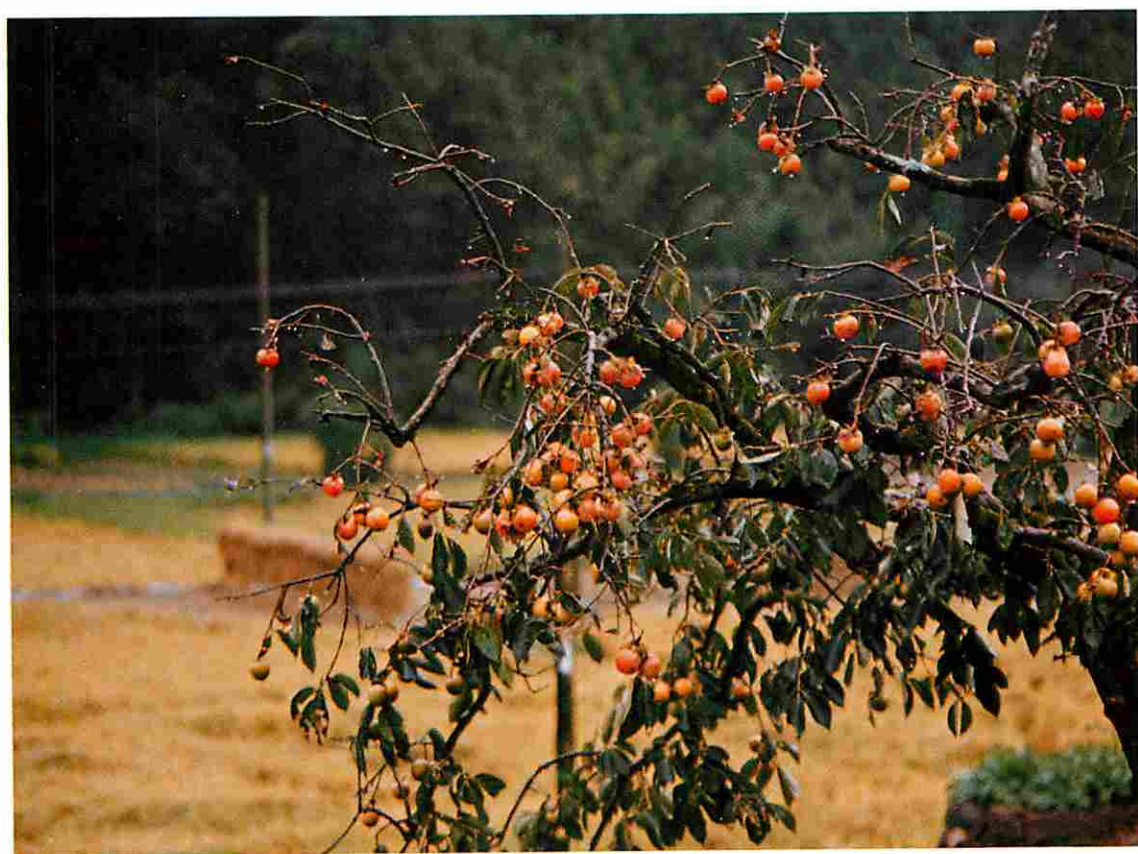


熊本市歯科医師会会誌

第 49 号



昭和59年度 熊本市歯科医師会代議員会
第8回バレーボール大会 東部2初優勝

表紙の写真 “秋、岩戸観音近くにて

市広報委員 寺脇 博

目 次

59年度熊本市歯科医師会代議員会	2
59年度熊本市学術講演会	斉藤 朗 3
第8回バレーボール大会	厚生委員会 5
医療管理講演会	友枝 和夫 12
第8回市民健康推進講座	青木 道育・分山 和男 14
本日休診「私とスキー」	添島 正和 15
委員会紹介(広報委員会)	18
勉強部屋	成松 賢二 21
湯島にて移動理事会	関 剛一 26
59年度九歯大同窓会旅行	29
会員配置図(川尻)	31
新入会員紹介	33
会務報告	35
編集後記	36

昭和59年度熊本市歯科医師会代議員会

去る9月27日PM 7:30県歯科医師会館3Fホールにて、昭和59年度市歯科医師会代議員会が行われた。

坂元一夫先生を議長に選出し、現代のきびしい社会情勢の中で我々歯科医師がいかに取り組むべきか等の川崎会長の挨拶の後、会務報告、庶務報告が山室副会長よりなされた。

続いて宇都宮常務理事より昭和59年度歳入歳出の現況がなされ、山隈監事より監査報告がなされた。

次に(1)昭和58年度熊本市歯科医師会決算書

(2)昭和58年度熊本市歯科医師会共済決算書

(3)昭和58年度職員退職積立金決算書

(4)昭和58年度基本財産積立金会計の承認を求むる件

が議事題とされ、すべて承認された。

続いて協議に入り厚生委員会にレクリエーション、親睦会に対する要望、各種講演会に対する取り組み方、税務対策、健康保険法の改正について各代議員より活発なる意見がなされPM 9:00過ぎに閉会した。



59年度熊本市学術講演会開催さる

診断学シリーズその1

「歯髓の臨床診断と治療効果からの再検討」

講師 東京都開業

森 克栄先生

斉藤 朗 記

去る8月25日、熊本県歯科医師会館3Fホールにおいて熊本市学術講演会が開催されました。今回は診断学シリーズその1として、東京都世田谷区開業の森克栄先生をお招きし、「歯髓の臨床診断と治療効果からの再検討」という演題で講演していただきました。森先生の毒舌ぶりは有名ですが、噂に違わず開演そうそうの辛辣な御批判には、会員一同驚くやらあきれるやら破乱のスタートとなりました。先生の御講演に先立ち歯周外科治療の16mm映画を行ないましたが、先生はその映画をいっしょに御覧になり次のような批評をされました。

- ① 術者の爪がのびている。爪を切るか、手袋をするのが常識である。
- ② ⑥の根分割を行なう前にFlapを行なっているが、感染予防のためには根分割を先に行なうべきである。
- ③ Flapの縦切開を⑤の近心で行なっているが、⑤は2から3壁性の骨欠損があるから、この部位での縦切開では⑤部位の予後が悪い。
- ④ ポストコアが短いので補綴物が破損しやすい。
- ⑤ ⑤の $\frac{1}{2}$ 冠、⑦のMOインレーは補綴的

設計のミスであり強度が足りない。

- ⑥ 術後のX線写真が出ていないのは、マージンが合っていないからか？
- ⑦ 第2症例では根充後のX線写真に病巣が出来ている。

以上のような御批評の後基本的な歯髓の病理について説明され、臨床的歯髓診断の方法として、

- ① 既往歴として歯牙の疼痛の有無
- ② 窩洞の大小
- ③ 根尖部の異常の有無
- ④ 打診反応
- ⑤ 動揺度
- ⑥ X線写真
- ⑦ E.P.T.
- ⑧ 熱反応
- ⑨ ドリリングテスト
- ⑩ 麻酔による鑑別診断

以上のようなことを挙げられました。次に症例別の要点を列举していきます。

- ① 根尖までリーマーが到達しないときはデンティクルの存在を疑ってみる。
- ② 中心結節が存在する歯牙では、咬合時の鋭痛や触診痛が有り、X線写真に骨緻密像（コンデンシングオスタイシス）が

存在する。間接覆髄で予後良好な場合がある。

- ③ カリエスの除去により露髄したような歯牙でも、幼若な歯牙はもとの常態にもどろうとするバイタリティーがあり、直接覆髄により予後良好な場合がある。
- ④ 根管充填後のX線写真による予後鑑察は非常に大切である。4～5年後に思いもよらない大きな根尖病巣をつくってることがある。この様な場合にはエンドドンティックサージェリーとして、根尖搔爬、歯根端切除等の処置が必要となる。
- ⑤ リーマー等を折れこませた歯牙は、通常FCで固定した後、根管充填すれば予後良好な場合が多い。万が一予後不良な場合は逆根充等の方法を考える必要がある。

る。

- ⑥ 口腔全体を考えた場合、歯髄がどのような病変であっても抜歯のケースになる場合はたくさんある。今回の症例では、根吸収をおこした $\overline{7|7}$ の戦略的抜歯を行ない $\overline{8|8}$ のアップライトにより咬合の改善をはかっている。
- ⑦ 最後に森先生がある症例を提供しA. B. C. D. E. F. G. H. I. J.の処置方法を挙げて選択させ保存治療の困難さをスライド映写を通して体験させて下さいました。森先生の毒舌ぶりに反感を持たれた先生方も多かったのではと思いますが、ぬるま湯的な日頃の講演会と違って、この様なパンチのある講演会もたまには良いのではと思った今回の講演会でした。



第8回バレーボール大会

“東部2 初優勝、 常勝中央敗れる

厚生委員会

第8回熊本市歯科医師会親善バレーボール大会は7月15日(日)東海第二高校総合体育館において開催されました。

早朝より“打倒中央”を合い言葉に、川尻、東部2、東部4、北部2、各支部の熱気が館内にあふれ、試合前の興奮が胸に張りつめてくる。有吉厚生委員長の開会の辞に始まり、川崎会長の挨拶、中央元島支部長より優勝盃の返還、その後全選手の見守る中で、代表者による抽選会が緊張感を一層盛りあげた。一喜一憂の後昨年同様優勝候補の中央Aと中央

Bがまたもや1回戦で撃突、他支部のあんど感がありありと組合わせに現われる。そして、小島支部の奈良先生の選手宣誓があり、A、B、Cに別れて、予選リーグが開始された。

予選Aパートは中央A、中央B、東部4の3強が昨年同様に撃突。

中央Aは、プロアタッカー元島先生、今会アタッカー牧野先生、強固な守りの千場先生を用し、中央Bは菅原先生、有吉先生の2枚アタッカー、東部4は、才田支部長に新村先生、森尾先生、深川先生らが加わり、女性ア



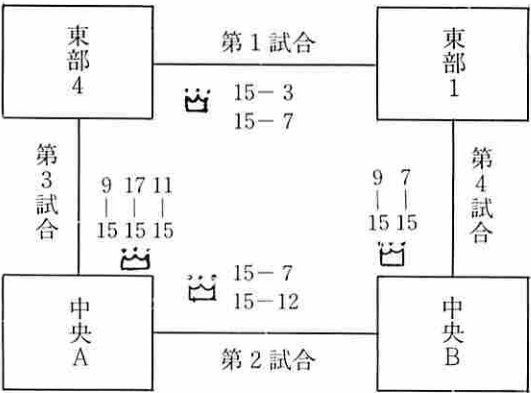
“東部2初優勝最高の微笑。

タッカーが強敵、東部 1 は、坂梨支部長自ら先頭に立ち、今年も本田先生、木庭先生、浜坂先生、内田先生、田嶋先生、坂本先生、藤

波先生が加わり一丸となって大奮闘。結果は中央 A が中央 B、そして東部 4 に大苦戦をして勝ち、決勝リーグに進出。

(Aパート)

予選組合せ及び結果



東部 4 シマッタ、熱戦終り御苦労様



中央 A 常勝敗れる



東部 1 全員一丸となって



中央 B 又も中央 A と撃突

Bパートは、西部の栗原支部長、片山先生、住本先生、中川先生、独得の環の強みをはっきりし、南部は柿原支部長の下、かつてない会員の参加、杉野先生、鈴木先生、関先生、富田先生、谷川先生、弥永先生、蔵田先生、浮池先生、鬼塚先生、昨年3位の実力の再現を期して、北部1は、新支部長田中先生の努力により、過去最高の練習量をこなし、バレーのリズムをつかみかってない強力なバレーをみせる、大島先生、藤波先生、緒方先生など若手参加。北部2は、例年伊東先生一人に今回杉野先生がアタッカーに加わり優勝をねら

う。昨年決勝リーグ出場の南部と北部2が合いまみえ、北部2が南部を2対1でくだし、決勝進出。Cパートの川尻は、今年も富岡支部長のもと、伊藤先生、久保田先生、河野先生らの和を家族ぐるみの応援団。東部2は、優勝をめざし、椿先生を筆頭に、宇治先生、松本先生、吉永先生、古賀先生、永野先生、上原先生、練習も確実にこなし、打倒中央の一番手でもある。東部3は合沢先生、岡本先生の2人が孤軍奮闘とする。小島は、坂元先生、柿原先生、奈良先生、尾上先生、今回は練習不足、決勝には東部2が進出。



西部 実力出しきれず。抽選悪し



南部 老も若きもせいぞろい



北部1 田中新支部長ハッスル



北部2 又も無念の涙



川尻 笛吹けど踊らず



東部2 最高のまとり



東部3 これではかわいそう。来年を期待



小島 一にも練習二にも練習

昼食時間を利用して、恒例の子供達のアトラクションを行う。

泣きじゃくる子供、立ちん坊の子供、ボールを手からはなさない子供等その仕草に笑いと拍手。お母さん達のフラッシュも館内にフ

ラッシュの嵐。今回新初登場、奥様達による、ママさんのビーチバレー大会。20人の奥様方の参加により、コート内に紅一点の環をつくり、増々大会は盛り上った。



オットット……



ナイスプレー



御協力ありがとうございました

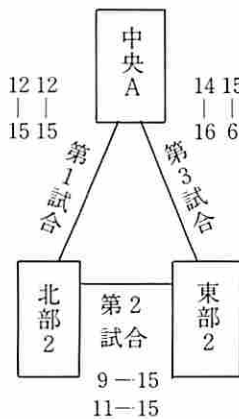
決勝リーグ（総合）は、中央A、北部2、東部2の間で行われ、中央Aは元島先生のアクシデントがあり、北部2に負け、東部2に勝ったが、セット率において、東部2が初優勝に輝いた。東部2は、会員7名の全員出場、今大会の主旨である会員の為の大会である主旨を实践した最も価値ある勝利である。

決勝リーグの成績は下記の通りである。

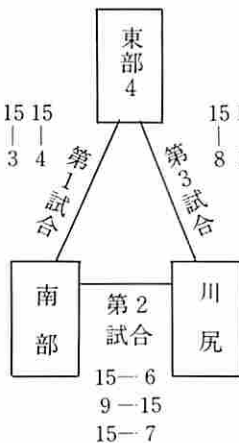
本大会を終るに当り、各支部長、先生方の御協力に感謝致しますと共に、東海第二高校、佐野先生、バレー部の在校生の皆様方に心よりお礼を申し上げます。

《決勝リーグ組合せ及び結果》

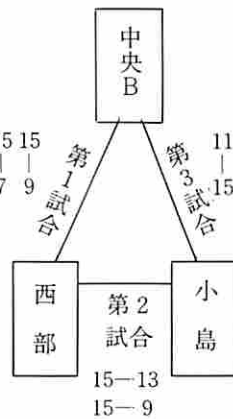
(Aパート) (総合)



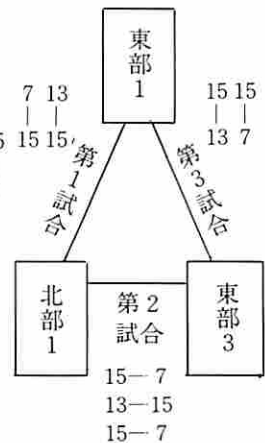
(Bパート)



(Cパート)



(Dパート)



順位表						
総合優勝	準優勝	第3位	Bパート優勝	第2位	第3位	Cパート優勝
東部	2	北部	2	中部	A	東部
東部	4	南部	部	川尻		中
東部		川尻		中	央	B
東部		西部	部	小島		北
東部	1	東部	1	東部		東
東部	3	東部	3	東部		東

	優秀選手賞	敢闘賞
中央 A	牧野敬美	水間ひとみ(元島歯科)
中央 B	田丸靖子(元島歯科)	有吉啓一
北部 1	堤内淳子(片岡歯科)	中川武文(中根歯科)
北部 2	杉野泰彦	嵐史彦(伊東歯科)
東部 1	小堀田純子(とろく歯科)	奥さゆり(田島歯科)
東部 2	宇治道孝	梅野紀代子
東部 3	中村敏江(堀川歯科)	吉田留美子(岩村歯科)
東部 4	山田明美(新村歯科)	新村健三
西部	片山幹夫	宮川高次(三隅歯科)
南部	川原寿文(大塚歯科)	谷川貞男
小島	吉田恵美(聖ヶ塔歯科)	吉広謙二(聖ヶ塔歯科)
川尻	安藤五十美(伊藤歯科)	原田良江(宮岡歯科)

い い 汗 賞		
田中 宏(北部1)		



どっちにおちるのかなー



ネットぎわの魔女



シマッタ、



熱戦終り御苦労様

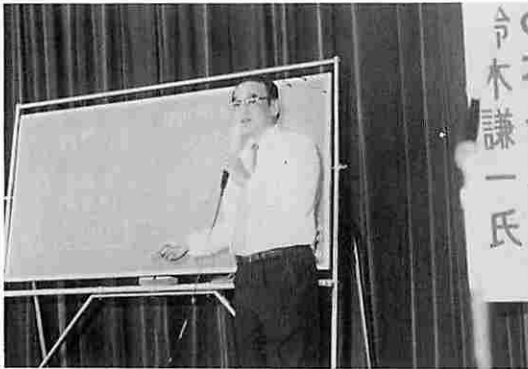
医療管理講演会

S59.9.1(土)

「これからの歯科医院経営と社会情勢」

鈴木歯科器材㈱社長 鈴木謙一氏

友枝和夫 記



残暑厳しい中、約百名の会員及びその関係者の出席の中、開かれました。まず川崎会長より、「昭和30年代にかけて経営的な楽な状態でしたが、アポイント・リコール等により経営状態は変化してきた。さらに最近では、周囲からの圧迫も、強くなってきてますます厳しさを増している時ですので、先生方には是非経営と社会情勢に詳しくなって頂きたい」という挨拶のことばをいただき、鈴木謙一氏の講演となった。氏は昭和26年東大経済学部を卒業と同時に、日本経済新聞社に入社され、大阪本社編集局長として活躍された後、昭和55年に鈴木歯科器材㈱の社長に就任されました。元ジャーナリストとしての立場から講演されました。以下は内容の一部割愛です。

「今までの経験だけでは役に立たない時代になってきている。医院経営を取り巻く環境が変わってきている事を確認しておく必要がある

のではない。日本の経済状態は4つの転換期があった。1回目の転換期は昭和20年、敗戦後の復興期又は再建期、2回目は昭和32年から47年にかけての高度成長期、『もはや戦後ではない』と言われた時代。3回目は昭和48年第1次石油ショック後の調整期であるが、歯科界では福祉元年とも呼ばれ依然高度成長を続ける。4回目は現在で新しい時代、さてどうなるかと言う時代で、今、日本はこの4回目の転換期に差し掛かっているが、医療界では一般産業界の3つ目の転換期、即ち、昭和48年の第一次オイルショックの状態で高度成長が終わる時代にきた所である。一般産業界がどう生きのびてきたか勉強する事もとても参考になるのではない。なぜ新しい時代かという第1にアメリカ経済の強力な上昇、日本の経済はアメリカを抜きにしては考えられない。第2は世界的インフレの収束。日本はオイルショック以後、個別には値上がりしたものはあるが、この10年間は世界中で最も物価が安定した国である。欧米では10年以上物価は確実に上昇し続けてきたが、レーガン、サッチャーの強力な政策によりインフレが治ってきた。この二つの事により新しい時代に変って行く。この二つを支えているものは、技術革新(イノベーション)、特にエレクトロニクスである。資本主義社会であれば一般産

業界、流通業界のみならず歯科界も競争社会の基本原則から逃れられない。高度成長期の競争は、レースの様なものであるが、それがゲームになった。即ちレースでは、それぞれが全力を尽せばそれぞれの伸びがあった。しかしこれからはゼロサム社会等と呼ばれ、限りあるものを取り合わなければならぬ時代で、マージャンと同じ様に⊕の人がいれば⊖の人も出てくる。これからの経済は、伸びては行くが暗い面を伴いながら徐々に伸びて行く。歯科界も同じで、これは厳粛に受け止めなければならない。医療費抑制の問題は、日本で今問題になっているが、日本は非常に幸せな国で、よその国の経験を生かす事が出来る。こういう問題は日本はいつも後になっている。他の先進国はとっくにこの問題にぶつかり、ある意味ではそれを克服している国もある。この問題は財政再建の為にどうこうと言うよりも、高齢化社会の到来と非常に密接な関係がある。高齢化社会に対するシステムを早く作り上げる事は絶対に必要な事である。以前は人生50年と言われていたが、今や世界一の長寿国になっている。以前は働き続けて人生を終わった。今や人生80年を目前にして未踏社会と呼ばれ、今だかつて経験した事のない様な状態を向かえようとしている。今まで国民皆保険、福祉元年等と言われてたが、これは人生50年をだいたい基礎にして考えてある。日本は外の先進諸国に比べて、3倍から4倍のスピードで高齢化に向っている。良いシステムを皆で考えなければならない。高齢化社会の到来により健康に対する関心が深まってくると、健康で明るい老後を送る為に医療問題は増々重要になってくる事は間違いない。この辺に、歯科関係にしても潜在需要が



顕在化してくるのではないか。先日米国ミルウォーキー・デンタル・リサーチグループ会長のホフマン先生が、『今は生き残り作戦展開の時代だ』と言われた。そして競争相手は他の歯科医師ではなく、大コンピューター会社であり、大自動車会社だ。つまり大衆のお金を使わせる者がすべて競争相手、逆に言えば、一般の人々に歯科にお金を使おう、この先生に自分の健康を任せようとの動機付けが大切だと、歯科マーケティングの重要性を強調された。本当の医療費の総枠は政府が決められるものではない。国民が選択するものである。膨大な歯科に対する潜在需要を注視し、その顕在化を考える時ではないだろうか。」以上です。

講演の後、牧転理事より謝辞、川崎会長より感謝状を贈呈して頂き、講演会を終了した。

鈴木社長には、資料もたくさん用意して頂き、経済第一線の話を出るだけ分かり易く講義され、歯科界と社会情勢の関係を改めて認識出来た様に思えます。ユーザー、つまり患者にフィットあるいはアピールするかしなが決定的に大事な時代になり、私共歯科医師も工夫したり幅広く学んだりしてこの時代を乗り切らなければならないと思います。

第 8 回 市民健康推進講座

口腔衛生委員会 青 木 道 育

分 山 和 男

去る 9 月 27 日、熊本県商工会館 9 階において、熊本市医師会主催、熊本市歯科医師会後援の第 8 回健康講座がおおよそ 100 名弱の参加者のもと、開催された。この教室の対象は一般市民と地域ヘルスケア委員が殆んどであり、健康の維持増進と地域のリーダーの養成を目的としたものであり、定期的に開催されている。

今回は歯科について熊本市歯科医師会口腔衛生委員から、もち回りで青木・分山の 2 名が講師として出席した。

まず青木が歯科及び口腔領域の疾患、特に顎骨の骨折、悪性腫瘍とその治療法、並びに

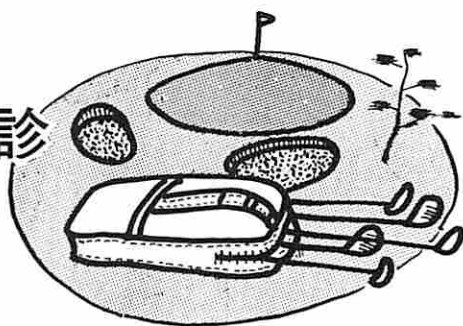
矯正、口腔外科等の歯科の各部門についてスライドを交え説明し、次に分山がいわゆる歯槽膿漏症とフッ素によるう蝕予防法について説明した。

この講座の聴講生は平均年齢が 60 歳以上の高齢者が多数を占めるため、特に癌、肉腫、歯槽膿漏の末期的症状や有床義歯などに関心を強くもっていて、質問もそういった事に集中した。

又、治療を受ける場合に、患者にとって歯科医師の治療内容や病状についての説明が少ないと言った苦情を受け、治療の際には患者に対して納得のいく説明の必要を強く感じた。



本日休診



私とスキー

東部3 添島正和



トナムスキー場にて 1984年2月
左から二人目が私。中央手を上げているのが大島先生、右から二人目が妻。

私がスキーを始めたのは、大学卒業した翌々年の昭和49年なのでスキー歴だけは途中6～7年のブランクはあるが、今年でかれこれ10年になる。大学時代は学校が東京（東京歯科大学）だったせいで、スキーをするのには大変恵まれていたのであるが、今は亡き父によく友人と志賀高原に行くといっちは送金を

してもらって、1回もスキーに行く事なく、遊ぶ金（麻雀、競馬、デート代……等）に消えてしまったのも懐かしい思い出である。そういう訳で、父に対しても私は是非スキーを始めなければいけなかったのである。（父は私がスキーが相当上手だと思ったまま亡くなったので……）私の初体験のスキーは樹氷で

有名な山形県の蔵王スキー場であり、大学時代の友人3人と上野から急行（奥羽本線）でとことこと4時間かけて山形県米沢市の先輩の診療室の見学をかねて行ったのである。その先輩の診療室のある米沢市から蔵王スキー場までは、雪道をタクシーで約1時間の道のりである。私はいよいよ待ちにまったスキーが出来ると思い胸が高鳴り、興奮してくるのがはっきりとわかった。スケートが出来るので、スキーなんか簡単に出来ると思っていた私の初滑りはそういう予想とはうらはらに、散々な結果に終わった。



札幌国際スキー場の吹雪の中で、1983年2月。妻と私。この時は氷点下16℃であった。とにかく痛いほど寒かった。

まずスキーをはいて5m位ですぐ転んでしまい、リフトに乗るのに片方のスキーがとれてしまってリフト係のおじさんが手伝って、みんなが見ている前で、やっとの思いでリフトに乗れた時は、体中汗びっしょりの状態であった。第1リフトを降りたら友人達は冷たく（気候も寒かったが）私を置いてきぼりにして、頂上のほうにリフトを乗りついで行ってしまった。私は仕方なく、そのあたりの勾配のきつくないゆるやかな斜面で1人で、何回も練習をしていたが、そのうち急に吹雪い

てきて視界が悪くなってきたのでやむをえず、スキーの板をはずして肩にかついで、ゲレンデのスキーヤーの冷たい視線を横目にあびながら、下のロッジまで雪にうもれながら歩いて帰ったのが私のスキー初体験である。

そういう結果だったので、それからは必死でうまくなりたいと思い、スキースクールに入ったり、ナイタースキーをやったりしてなんとか滑れるようになった。

私の妻は北海道の札幌生まれなので、我流ではあるがもともとスキーは中級の腕前であり、妻に追いつき追い越すのが私の最初の目標であった。最近やっと同じぐらいに滑れるようになった。スキーの良さは末長く家族



妻と子供達 長女絵美10才 1984年元旦
次女 愛 7才 上越国際スキー場にて
長男賢一 5才



1984年2月 トナムスキー場にて
左から二人目が兄。右から二人目が私。
一番右は大島先生。

全員で楽しめて、ゴルフと違ったあの爽快感にあると思う。

結婚10周年を記念して、昨年2月に妻と二人で北海道のテイネと札幌国際スキー場に行ったのを皮きりに新潟の上越国際スキー場に2度（昨年3月と今年の正月に子供連れで）、今年2月には兄（桜町開業）と坪井の大島先生達と熊本からの15人位のツアーで、北海道の新しいリゾートスキー場であり、最近では、草刈正雄主演のTVドラマ「激愛」の舞台として有名なトマムスキー場に3泊4

日10万円（飛行機代、二食付きのホテル代を含む超安値のツアーである）のツアーに行った。

又今年の12月には大島先生家族と一緒にワールドカップで有名な苗場に行く予定である。

10月の気候をみていると朝夕の冷えこみが厳しくなり、今年の冬も例年以上に雪が多そうである。シルキースノーのゲレンデに自由自在のシュプールを描いて、早くスキーのあのあのなんともいえない生ビールのうまさを味わってみたいと指折り数えてまっている今日この頃である。

— 委 員 会 紹 介 —

広 報 委 員 会



広報担当理事
関 剛 一

広報を担当しまして先ずは会員の皆様に対して原稿の御協力をとても感謝しております。会誌の内容も委員一同頭をひねり、より充実した、より読みやすく、を合言葉に学術的な頁を多くとり又、保存しやすい様にと心がけています。まだまだ改善、見当する事が多く、皆様の興味ある文面にしていこうと委員一同協議を重ねて行こうと思っています。どうぞ

今後共より一層の御協力をお願い致します。

広報を担当していますと、とても多くの会員の先生方とお知り合いになれ又、歯科医師会の動向が手に取る様に解かって来ます。

現在の歯科医師の立場は種々の面でとても厳しく、不安と不平ばかりで暮らしている様に思えます。そんな中で我々は本来の歯科医師としての自覚と誇りをより一層持たねばならないと思いますし、歯科界を大きな目で展望していかなばならぬと思っています。医は経営面で最大の曲り角に来ているのですが先生方ストレスをどの様な形で消化されていますか？



坂本 憲昭

広報委員に任命されてはや9年たちました。今のように我々歯科界にとって大変厳しい社会情勢の中、広報も一般社会への歯科の啓蒙にとって大切な一つ的手段ではないかと思われるこの頃です。

会員の皆様には原稿その他諸々のことで何かと御協力頂きまして感謝しております。

今後とも委員会に御協力、御指導、御鞭撻の程お願い申し上げます。



浜坂 浩

初めての委員会活動で先輩諸先生の御苦勞を改めて知る機会を得る事が出来ました。原稿を依頼し、期日に間に合う様にしなければならぬのに依頼するのが遅れたのに期日に合わせて頂いたり、各先生に大変御迷惑をおかけしました。

本日休診の原稿を依頼する先生をさがすのは大変でしたので、仕事から離れた事なら何んでも結構です。よろしくお願いします。



奥村 敏之

広報委員に属し、早や2年が経過しました。が、何も分からず諸先輩の先生方に迷惑をかけたおしですが、来年の3月の任期まで、自分のやれるだけ微力ながらがんばっていきたいと思います。

どうか宜しくお願いいたします。



寺島 美史

広報という仕事に、全く無知のまま、委員会に加わり、もう3年目入りました。

編集、発行という苦勞が解り、今まで、なおざりにしていた発行物にも、必ず目を通す習慣がつかしました。



緒方 孝則

広報委員に任命され、はや、あしかけ7年になりましたが閑理事のもとで、他の先生方に御迷惑をかけない様に一生懸命自分の能力の範囲で頑張っております。



寺脇 博

広報委員になり早や3年過ぎようとしています。仕事は3ヶ月に一回出版する熊本市歯科医師会会誌作りが主な仕事です。原稿依頼及び編集、校正をやる訳ですが、先回の48号の誤りには驚きました。大きなみだしの誤りと委員会紹介の委員会名の誤りである。8名もの先生で見直してもこんな大きな誤りを発見できないとは、我々が日常的に小さな仕事ばかりやっている為、目先の事ばかり見て、全般的な見地にたって、もの事を見るという事に欠けていたと思いました。

自分のまわりでも、小さい事ばかりに気をとられ大きな事を見逃す事のない様、注意しなくてはいけないと思った出来事でした。



松原邦衛

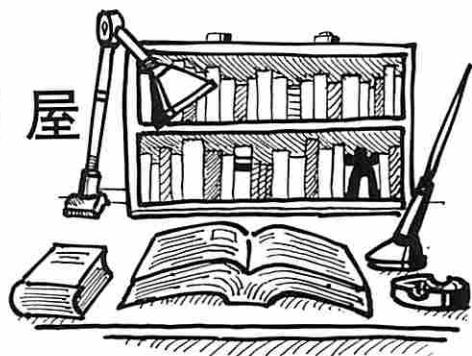
早いもので広報委員の任期もあと僅かとなりました。

在任中は、委員会の諸先生方に変にお世話になり、又、色々御指導頂き有り難く思っています。

今後、委員会の活動の中で得た体験を生かし、仕事、私生活面に役立てて行きたいと思っています。



勉強部屋



321|23 残存にコーヌステレスコープを用いた症例

学術委員 成 松 賢 二

はじめに

近年日本も世界のトップを争う長寿国になり、平均寿命が75~80とのびてきた現在、歯はどこまで残せるかと歯内、歯周、口外、補綴のあらゆる分野で論議され、歯周疾患や残根の歯でも、積極的に利用し、義歯の維持、安定を計ろうとしてきた。

パーシャルデンチャーは残存歯と顎粘膜とを、機能的基盤として成り立っている。しかし、この両者は周知のように、動態が全く異なり、そのため種々の障害を生じてくる。

従来これに対して、残存歯と義歯との間に可動性を与える Flexible support の設計がなされてきたが、あまり予後が良好でなく、現在 rigid support に注目されてきた。私は、rigid support を示すコーヌステレスコープを臨床に導入し好結果を得ているので報告する。

症例

患者は45歳女性。56年9月に上顎の義歯不適合及び Caries を主訴として来院した。(写真1)。上顎は3|13を鉤歯とするワイヤーの

レスト付2腕鉤を維持装置としたレジン床義歯が装着されており、3 鉤歯は歯冠部が破折しており、3|1は、Caries となっており、レストも充分機能しておらず義歯の安定が悪いと訴えている。

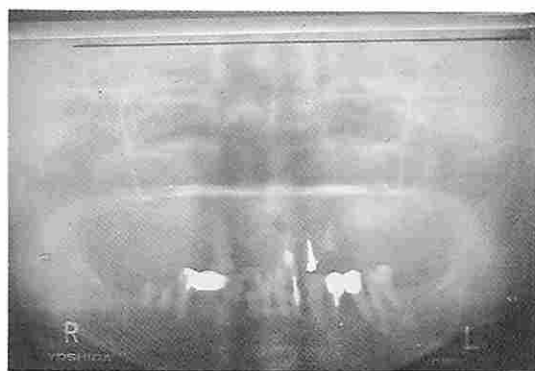


写真1. 初診時のパノラマ

3| は歯頸部 Caries がひどく、歯髄炎を惹起し、1 2 3は失活歯であり、1は歯頸部 Caries があり Pocket は4mm~5mmであった。2はメタルコアが装着されており、2 3部には、歯槽膿瘍を形成している。上顎顎堤及び顎堤粘膜は正常である。

下顎は6+6までで、6はC₄、6はC₃ 慢

化 Per の状態、全体に P₂₋₃。咬合関係は乱れ顎位の不安定で、関節雑音を示すなど顎関節の異常も認める。

患者は義歯の安定、審美性、発音の回復を訴え経済的な問題もないことから、次のような理由で Konuskronen Teleskope を利用したデンチャーを設計し調整した。

※処置方針上の問題点

『Caries. Perio に対して』

すでに存在する隣接面、歯頸部のカリエスはクラスプ、床が接触する部分でもあり可及的に全部被覆するタイプで調整することが二次カリエスの予防の点からも望ましいと考え、ブラークの付着しにくいブラッシングの容易な形態とし歯周疾患の予防、歯肉の改善を計る。

『Primary splint にするか Secondary splint にするか』

クラウン、バーなどによって連結される Primary splint と義歯の装着によって維持歯と物理的に連結固定してゆく Secondary splint とがある。

前者の方法としては Bridge による方法と、ドルダーバー、ミリングバーなどがあるが、両者とも固定することにより清掃することが困難で不潔となる。その点 Secondary splint を利用したコーヌステレスコープは、ブラーク、コントロールに非常にすぐれている。

『Proprioceptor の保存』

この症例においては全部抜歯して Full denture にもってゆく方法もあるが残存する歯を一本でも多く残すことによって義歯の安定、Proprioceptor の保存が可能で、そのことにより対合歯が有歯顎の場合は、上顎の義歯の破

折をふせぎ、自分の歯でかんでいるような意識が得られる。また C-R ratio (歯冠歯根長比)の改善により残存歯の負担軽減が計れ、移行義歯としても使用可能なものにした。

『審美性、発音、etc』

前歯にクラスプをもってくることは審美的に悪く、前歯部口蓋を覆うことは発音機能(特にサ行)などに影響を与え、また舌感が悪い。材質的な面としては、下顎が有歯顎であるため、相当に強い力が発揮されると思われるので、鑄造床が望ましく、また、異物感発音の点からも薄く出来る鑄造床が望ましい。

※「治療順序」

- ① 術前処置として、全顎にわたり、盲のう測定、スケーリングを行ない、X線診査(写真2)。スタディーモデルの作製。



写真2. 初診時2 3のデンタルX線

- ② 上顎では、3は抜髄、根充1 2 3は根管治療、2 3部は根充後 Fop歯根のう胞摘出および根端切除術。下顎は6抜歯、5 4 2 6は根管治療及び歯周治療。
- ③ 上顎歯肉がやや安定するまでフェイス・

ポー、トランスファーして、下顎をモンソ
ンカーブにしたがって、可求的に修正し、
[6 Full Crown 2]硬レ冠、[6]欠損は患者の
希望もあり上顎がデンチャーとなるため、
力学的に可能と考え、6⑤④の Bridge と
した。また他の歯は今のところ症状がなく
2次的に治療をするようにした(写真3)。



写真3. モンソンカーブにしたがって下顎 Bridge 完成

- ④ 上顎 Ope 2週間後、3|1 2 3にメタルコー
アを作製、旧義歯にレジン歯を追加して、
Overlay denture とした。(まだ、内外冠も
なく支台とレジン床によるものである)歯
肉改善、歯槽骨の安定を得るまで treatment
denture として使用した(写真4)。



写真4. 旧義歯にレジン歯を追加した Treatment denture

- ⑤ 6 週後、1 2 3の歯の動揺、歯肉の状態
も改善され安定してきたので、支台歯形成
内冠の作製を行なった(写真5)。



写真5. 6週間後のデンタルX線

- ⑥ 内冠の試適後、外冠作製の為の印象(写
真6)。



写真6. 内冠の試適

- ⑦ 外冠の試適。
⑧ 咬合採得、フェイスポートランスファー、
チェックバイト
⑨ 人工歯配列及び試適。
⑩ レジン床義歯完成(写真7)。



写真7. 完成したレジン床義歯

- ⑪ 3ヶ月後、3|1 2 3 歯肉歯槽骨の改善がなされており、レジン床義歯内面を一層削り口蓋部をレジンにて閉鎖し、ラバー印象材にて加圧印象（写真8）。



写真8. 3ヵ月後のX線

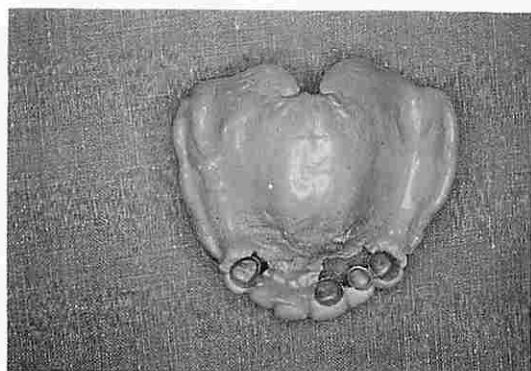


写真8". 口蓋部に即充レジンを追加してラバーにて加圧印象

- ⑫ 鑄造床義歯の完成（写真9）。



写真9

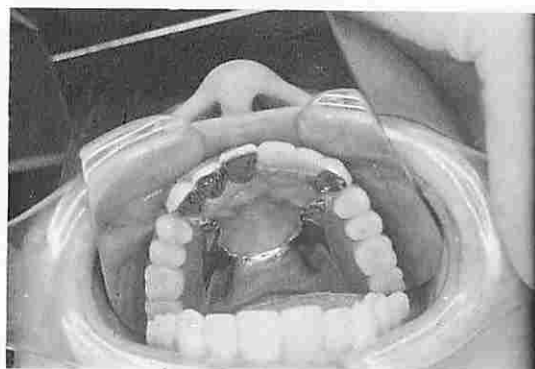


写真9". 鑄造床義歯装着及び口蓋部

※「予後」

現在、3年を経過しているが鉤歯の動揺、歯肉の炎症、ポケットの深化、義歯の不適合などの症状は認められない。ただ今回のリコールにおいて人工歯の摩耗が現われていたので、咬合面の Oclusal Cast をすすめている。（写真10）。

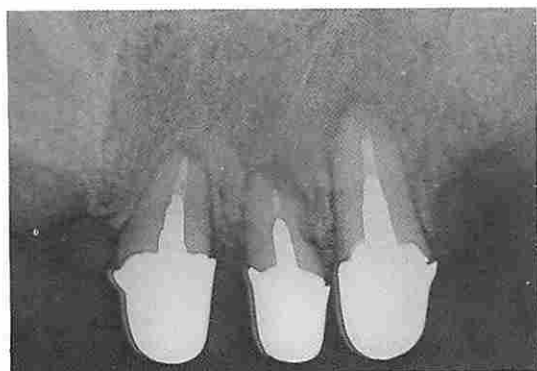


写真10. 1年後のデンタルX線

『おわりに』

今回は、前歯のみの残存で1 2 3は動揺がはげしくコーヌスにはやや不適と思われる症例であり、私も半信半疑で着手し、まずはレ

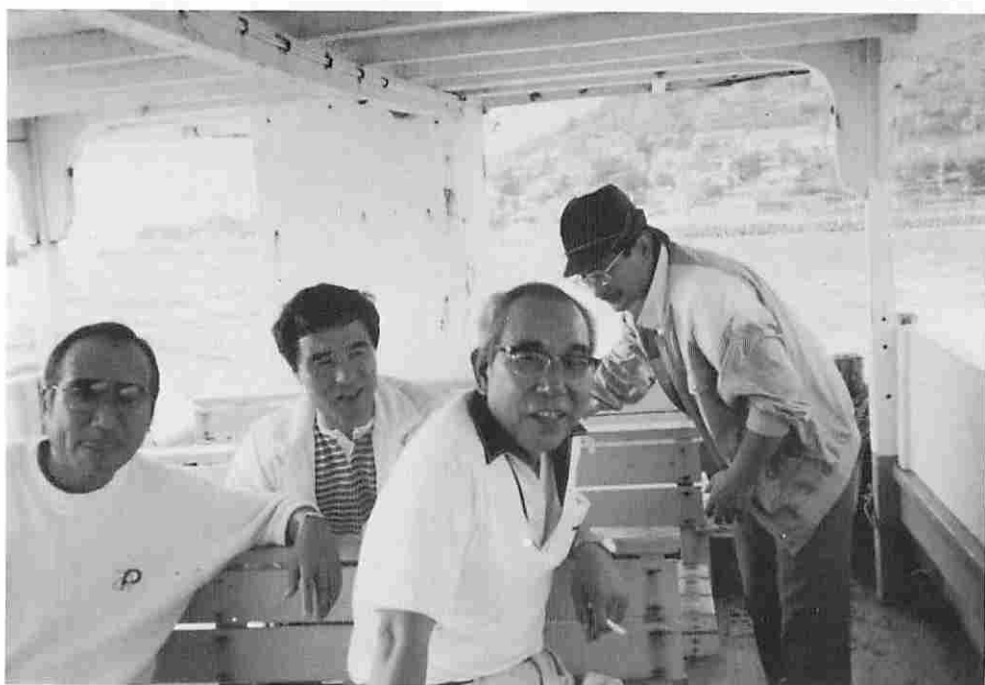
ジン床義歯としたが、経過が良好で鑄造床へと移行したものである。コーヌステレスコープの適応性の選択には、慎重であるべきである。鑄造床は強固でデザインもかなり考慮でき、発音舌感も共に満足している。

コーヌス角度は5～10度とあるが、私はその歯の骨植の状態、歯肉の状態、歯根の長さなどでその歯に与える角度を考慮しており、今回は、骨植堅固な歯には6度、動揺のある歯には8度のコーヌス角度を与えた。他にも同じような症例を経験しているが良好な経過をたどっている。



湯島にて移動理事会

関 剛 一



去る9月22日(土)、23日(日)恒例の市歯科医師会移動理事会を湯島にて行った。

その日丁度県立劇場にて健康保険改正説明会があり、我々は出席後湯島にと各車に分乗し出発した。湯島とは天草大矢野と島原半島の間に浮かぶ小島である。大矢野の江樋戸港より定期船が出ているのであるが時間に間に合わず船をチャーターする。江樋戸港よりフルスピードで30分湯島に着いた時には日が傾きかけていた。

全員旅館「きく」の風呂につかり天草の新鮮な生き魚に舌づつみ、酒を酌みかわしながら雑談する。何とすばらしい夕焼けだろう。やはり夕日はビルの間から見るより水平線に見る方がより大きく又、人間自然に帰えられるものである。

夜は山隈、山室、鈴木、牧野の各氏に私と旅館前の提防に夜釣りに出かけた。電気ウキを見ながら各氏童心に帰える。釣れる事アジゴが入れ食いである。

旅館に帰えると明朝5時起床のため「いびき」「歯ぎしり」組にと分かれて早く床につく事にした。皆起床の早い事、薄す明かく日は昇り始めていた。朝食もそこそこに3名ずつ4艘に分乗して湯島沖にと皆それぞれに自分の針に大きな鯛がかかれよと思いながら出港した。釣り場まで20分着いた頃にはもう10艘ばかり糸をたれていた。あまり釣れていない様子。我が船も何の「あたり」もない。その内場所を変えるが「あたり」なし。2時間ばかり

ぼやきながら過ぎただろうか、田島氏に「あたり」あり、嬉しそうな顔、「大きいぞ」と糸をたぐったその下には氏そっくりの「大フグ」が上がって来た。「潮が悪いのか、昨日までは釣れていたのだが」と船頭の声。田島氏にまた「あたり」あり。今度は重そう、1kgはあろうか、少し小ぶりではあるが見事な鯛である。続いて鈴木氏、片手にボトルを握っての釣りであったが同じ様な型の鯛である。船頭が言う事には、「寝とらしたと思たら釣りよら



したばいな」結局は我が船、鯛はこの2尾であった。

午前11時には旅館に帰える。他船もあまり釣れなかった様子。それでも牧野氏、2kgを筆頭に3枚も釣っていた。大物賞は牧野氏の

ものとなった。

各船無事に帰港し昼食をすませて理事会に移った。船酔いした人も3名ばかりいたのだが、やはり事、理事会ともなれば活発なる意見、報告がなされ2時間ばかりで終り、み

やげの魚を各自クーラーにつめて湯島を後にしたのである。



昭和59年度九州歯科大学同窓会旅行

九州歯科大学同窓会旅行が9月29日(土)、30日(日)一泊二日の予定で行なわれました。午後1時歯科医師会館よりバス組と自家用車に分乗し、長崎県小浜温泉へ向いました。なごやかな雰囲気の中、三角～九州商船フェリーにて島原へ渡り雲仙を経て、目的地小浜温泉に到着しました。

部屋割りの後、温泉にひたり、旅の疲れがとれた所で午後7:00より西山昂先生、渡辺益雄先生、林田充成先生の挨拶の後、宴会になりました。舞台ではショーも始まり酒の量もかなり進んでおられた先生もおられた様です。ホテルの催しでフィリピン女性のショーもあり、各自思い思いに温泉の夜を過ごされていた。

ました。

朝方目を覚ますと、外はあいにくの豪雨で観光、魚釣りと、ゴルフが予定されていたが観光、魚釣りは中止となり、ホテル内で弁当を開かれていました。一方ゴルフも、この豪雨では中止になるかもしれないが、一応ゴルフ場へ行こうという事になり、ゴルフ場へ向いました。

ホテルよりゴルフ場への道がわからず、ゴルフ場を探すのに一苦労し、30分程遅れて着きました。

ゴルフ場に着くと他の客もキャンセルして帰宅する者も多かった様ですが小雨になった為、せっかくだからやろうという事になり、



西山先生の始球式により読売チサンカントリークラブにて、九歯大同窓会コンペが始まりました。

聞きしにまさる山岳コースで距離は短いがホールとホールの高低差がかなりあり、幅がせまく楽な様で苦勞するコースでした。

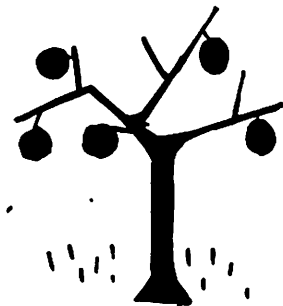
結局雨も殆んど降らず、午後から日も照り

始め蒸し暑さだけが気になりましたが楽しい一日を過ごしました。

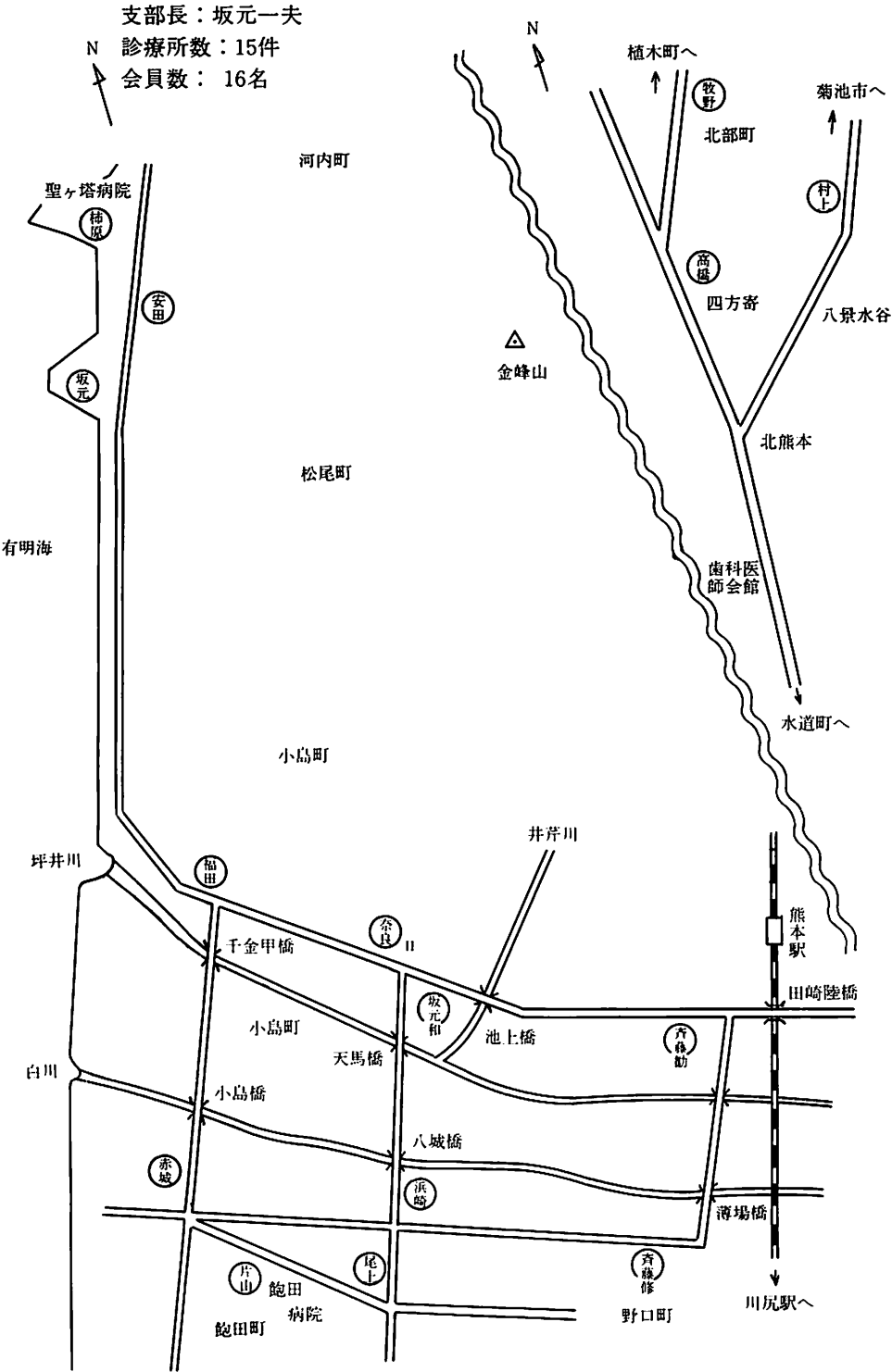
優勝は本命の甲斐先生でした。予想投票も行なわれ、高価な賞品を射止めたのは優勝者の甲斐先生と坂梨先生でした。

以下ゴルフの成績は下記の通りでした。

			OUT	IN	TOTAL	NET
優 勝	甲 斐 利 博先生		36	41	77	69.8
2 位	坂 梨 常太郎先生		41	42	83	75
3 位	渡 辺 博先生		38	46	84	76
4 位	寺 脇 博先生		47	49	96	76
5 位	木 村 豊先生		43	44	87	76.6
B.B.	本 田 亘先生		49	52	101	90.6



会員配置図 小島



注) 村上先生は休業中

57年7月から、熊本市歯科医師会会誌に会員配置図を連載し、今回で11回目に成りましたが、又、最終回にも成りました。

連載し終るまでには、新入会員も有り、減少の状態も有りましたが、現在（59.10.）の状況を報告して連載終了させていただきま

す。
又、連載するにいたりまして、各支部の支部長の過大な御助言、御鞭撻をいただきましてありがとうございました。紙面をもって失礼だと思いましたが御礼申し上げます。
ありがとうございました。

（59年10月現在）

支 部	支 部 長	診療所数	会 員 数
中 央	元 島 博 信	33	36
北 部 1	田 中 宏	19	19
2	岩 本 義 人	26	30
東 部 1	坂 梨 常太郎	18	19
2	堀 川 義 治	25	27
3	堀 川 秀 一	24	24
4	才 田 雅 英	22	24
西 部	栗 原 幸 紘	18	19
南 部	柿 原 康 男	26	29
川 尻	富 岡 浩 雄	10	12
小 島	坂 元 一 夫	15	16
	計	236件	255名

会員の打ち明け

- 一般会員 204名
- 親子会員 15名
- 終身会員 29名
- 勤務会員 3名
- 特別会員 4名

（担当）奥 村 敏 之

新入会員紹介



氏 名 遠 山 啓 介

住 所 (自宅) 熊本市水前寺 6 丁目 13 番 5 号 TEL 383-1478

(診療所) 熊本市健軍町鉄砲塚 2305-398 TEL 385-2607

生年月日 昭和 24 年 4 月 6 日

趣 味 本を読むこと。音楽鑑賞。ギター。オーディオ器機の製作など。

好きなことば 静虚動直。哲理。

経 歴

昭和 53 年 九州歯科大学卒業

昭和 53 年 渡辺歯科医院勤務

昭和 55 年 菊陽台病院歯科勤務

昭和 59 年 5 月開院

家族構成

妻 遠 山 良 子 昭和 30 年 1 月 28 日

長女 文 美 昭和 57 年 11 月 11 日

氏 名 鳥 巢 直

住 所 (自宅) 熊本市水前寺 6 丁目 44-12 TEL 383-6767

(診療所) 熊本市横手 3 丁目 1-22 TEL 355-5822

生年月日 昭和 26 年 3 月 13 日

趣 味 釣り、海外旅行

好きなことば 進歩

経 歴

昭和 54 年 福岡歯科大学卒業

昭和 54 年 鳥谷歯科勤務 (福岡)

昭和 55 年 辰川歯科勤務 (広島)

昭和 58 年 楠歯科勤務 (熊本)



昭和59年 開院

家族構成

鳥 巢 恭 子 (母) 大正10年 6 月 9 日生



氏 名 安 田 伸 行

住 所 (自宅) 熊本市健軍町小峯2606の 8 TEL 367-5455

(診療所) 同 上 TEL 367-5456

生年月日 昭和28年 1 月12日

趣 味 テニス

好きなことば 真実

経 歴

昭和53年 3 月 日本歯科大学新潟校卒業

昭和53年 5 月～昭和56年 5 月 東京都新宿区松尾歯科医院に勤務

昭和56年 5 月～昭和59年 4 月 東京都中央区銀座石川歯科医院に勤務

昭和53年 4 月～ 日本歯科大学小児歯科学教室研究生として在局中

家族構成

恵子 昭和27年10月15日 妻

麻子 昭和56年 1 月11日 長女

久子 昭和57年 9 月 7 日 次女

会 務 報 告

6 月22日～ 9 月22日

月	日	行	事
6	22	医療管理委員会	
	29	厚生委員会	
	30	佐藤英博先生ご母堂様ご逝去	
7	2	社保委員会	
		広報委員会	
	13	厚生委員会	
	15	バレーボール大会（東海大第二高総合体育館）	
	16	学術委員会	
	19	理事会	
		中村勇一先生ご尊父様ご逝去	
	20	医療管理委員会	
		学校歯科委員会（県1 F会議室）	
	26	口腔衛生委員会	
8	4	〃	
	10	学術委員会	
	13	相賀春暢先生ご逝去	
	20	学校歯科委員会	
	22	理事会	
	24	学術委員会	
	25	学術講演会	
	27	厚生委員会	
	29	医療管理委員会	
	30	社保委員会	
9	1	医療管理講演会	
	5	広報委員会	
	13	学術委員会	
	15	広報委員会	
	18	資格審議会	
	19	監査	
		学校歯科委員会	
	20	厚生委員会	
	22	理事会	

編集後記

医師及び歯科医師過剰の時代になり、医学部、歯学部の人気も落ち、また10月1日より保険法の改正により、我々歯科界を取りまく環境は年々厳しくなってきましたが、脱サラならぬ脱シカも出来ず……苦境のなかで会員の先生方皆で仲良く力を合わせていこうではありませんか。

会員の先生方の御健康をお祈りいたします。

広報委員会

熊本市歯科医師会会誌

第 49 号

発行日 昭和59年11月1日発行

発行所 熊本市歯科医師会

熊本市坪井2丁目3番6号

TEL (343) 6669

発行者 川崎正士

印刷所 コロニー印刷

熊本市二本木3丁目12-37

TEL (353) 1291